

# 農林水産振興ニュース

第27号

財団法人 広島市農林水産振興センター  
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center  
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号  
TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149  
http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

◆個人情報に関する基本方針◆  
皆様から提供していただいた個人情報は、当財団において適正な管理のもと、財団の活動の範囲内において保存、利用いたします。  
なお、個人情報の第三者への提供については、法令に基づく場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、提供された目的以外の用途に又は提供された目的を超えて第三者に提供いたしません。

## 多様な担い手の育成

農業従事者の減少や高齢化に対応し、他産業並みの所得を目指す認定農業者や、少量多品目出荷や直売を目指す女性・高齢農業者、定年退職後の新規就農者、自給自足を行う既存農家や小規模新規就農者、農業ボランティアや農業体験参加者まで、既存農家の活性化と市民の農業参画促進による多様な担い手の育成を図ります。



安佐北区白木町下三田地区で  
ブドウと野菜の栽培を始める田中さん



安芸区阿戸町国草地区で  
水稲と野菜を栽培する小山さん



安佐南区沼田町  
阿戸地区で  
水稲と野菜を栽培  
する永井さん



佐伯区五日市町野登呂地区で  
野菜と花きを栽培する大橋さん



佐伯区湯来町葛原地区で  
水稲と野菜を栽培する安田さん



スローライフで  
夢づくり。  
定年就農者育成事業の  
第一期生が就農。

## 第二の人生を スタート

平成18年4月1日、第一期生の5名が就農しました。就農地は市内農業振興地域の5箇所。自然豊かな農村で夢の実現に向けての第一歩を踏み出しました。安佐南区沼田町に就農された永井さんは「農業は自然相手の仕事、研修で学んだことを思い出し、あせらず着実に作物を育てていきたい」と意気込みを語ってくれました。

スローライフで夢づくり  
定年就農者育成事業とは

ゆとりある生活の中で農業を始める定年就農希望者を募集し、一年間の研修後、斡旋した農地に就農。新鮮な農作物の直売による地産地消の拡大や地域交流による農村の活性化を図る事業。

固指導課構造改善係  
(☎845-4347)

## 「ふるさと帰農支援事業」 平成18年度 研修スタート

広島市内の農家出身者で定年退職後に野菜の生産販売農家を目指す方を対象とした研修が始まりました。

平成20年3月までの約2年間、広島市農業振興センター及び市内農家などで就農に必要な基礎知識や技術の研修を行い研修後、市内に就農します。就農後、地域の農業者が組織

する農事研究会に加入し、新鮮で信頼のおける野菜等の生産振興や地産地消の推進と自給率の向上のほか、地域農業の活性化に貢献します。

固指導課農産係  
(☎845-4376)



## 若い活力ある「ひろしま活力農業」 農業者を育成します

本センターでは、広島市農業の将来を担う若い優秀な人材を育成する「ひろしま活力農業」経営者育成事業に取り組んでいます。これまでに117期生14名が就農し、安佐北区白木町や安佐南区沼田町でコマツナやミズナなどの軟弱小物野菜を主体とした農業経営を行っています。

また、4月からは8期生の橋本光弘さんと田邊圭一郎さんが安佐北区白木町で2年目の実地研修に、9期生の今田典彦さんと中岡亮さんが本センターで1年目の基礎研修に、それぞれが将来の農業経営者を目指して取り組んでいます。

就農後は、ビニールハウス約30aでコマツナなどの軟弱小物野菜の周年栽培により年間約16万束、1,000万円の売上を目標とします。また、将来は、規模拡大により、経営安定を目指すとともに、地域農業・農村の担い手としての活躍が期待されます。

固指導課構造改善係  
(☎845-4347)

基礎研修の様子



2年後の就農を目指して  
研修をスタートした  
今田典彦さん(26歳・左)と  
中岡亮さん(20歳・右)

実地研修会場



2年目の実地研修を  
スタートした  
橋本光弘さん(35歳・左)と  
田邊圭一郎さん(29歳・右)

## 牛乳消費拡大をめざして

砂谷酪農部会では5月3日～5日のフラワーフェスティバルで牛乳消費拡大PRを行いました。幸い3日間とも天候に恵まれ、多くの方に牛乳のおいしさを味わっていただきました。また、牛乳を使った簡単なおやつ作り方のパンフレットも配布し、飲むだけでなく食べる牛乳もアピールしました。

☎指導課畜産係  
(☎845-4378)



## 小学生の稲作体験 学習活動支援



体験学習の様子

安佐北区井原地区(井原地区営農集団代表者連絡協議会)では平成14年度より、市内の小学校の児童を対象に稲作体験学習を行っています。

今年度は5月15日(月)、井原地区4カ所の水田で、庚午小学校の児童ら152名が参加し、地元農家の指導の下、熱心楽しく田植作業を行いました。秋には、同じ水田で稲刈体験を行います。本センターでは農家による体験学習活動の支援を行っています。

☎指導課構造改善係 (☎845-4347)

## うどん打ち体験会

5月20日、花みどり公園で、食と農の理解を進めるため、うどん打ち体験会を実施しました。参加者からは、「自分で打ったうどんを食べる事が出来て感動した。」などの意見が聞かれました。



☎花みどり公園 (☎837-1247)

## あなたと育てる “ひろしまそだち”野菜食味調査

1月31日、市民モニターによる野菜食味調査を行いました。冬の露地野菜(こまつな、‘風の娘’)、キャベツなどを試食しました。冬の露地野菜は、甘くて美味しいという答えが多く、好評を得ました。



☎園芸課 (☎842-4421)

## 軟弱野菜品種検討会

4月18日、ほうれんそう、葉ねぎについて、農家、市場関係者を交え、商品性、収益性などを検討しました。2月まきほうれんそうは、生育が早い‘アスパイアー’、収量が多い‘アトランタ’が有望でした。葉ねぎは、収量が多い‘鴨頭’‘T-1スリム’が有望でした。



☎園芸課 (☎842-4421)

# 食と農の理解の促進、 元気な農業の展開

## 佐伯区湯来町で 食農体験!

5月20日、佐伯区湯来町で市民親子26組を迎え、地元の協力のもと食農体験を実施しました。この事業は親子を対象に食と農への理解を深め、地産地消を推進するため、農作物を作ることから食べることまで、一貫して年6回行います。参加した市民の方は、豊かな自然のなかで午前中、田植や豆類の播種を行い、午後からは郷土料理の「さんばいさん」作りを楽しみました。



☎指導課農産係 (☎845-4376)

## 農業体験学習の指導

昨年に引き続き、今年も文部科学省から委嘱を受けて市教育委員会が実施している「学校を中心とした食育推進事業」の推進校である南区の皆実小学校と比治山小学校へ農業体験学習の指導を行います。現在、皆実小学校は5年生を対象にパケツ稲づくり、比治山小学校は5年生を対象にペットボトルで稲作り、4年生を対象に大豆づくりが計画されています。早速5月10日、16日は皆実小学校、5月17日は比治山小学校で指導を行いました。自分達の手で稲を栽培することに子どもたちはとても興味を持って取り組んでいました。



☎指導課農産係 (☎845-4376)

## かんたんレシピ 小松菜とひき肉の炒め煮

材料(4人分)  
小松菜 ……1袋  
豚ひき肉 ……200g  
白ねぎ ……1/2本  
生姜 ……半分  
とりガラスープの素・大さじ1杯  
塩 ……小さじ1杯  
酒 ……大さじ2杯  
コショウ ……少々  
ごま油 ……大さじ2杯  
片栗粉 ……大さじ1/2杯  
下ごしらえ用塩

下ごしらえ  
①小松菜は塩少々入れた熱湯でさっと茹で、冷水でさまし4cm位の長さになり、しぼって置く。  
②生姜はうす切り。白ねぎは5cm厚のななめ切りする。  
③片栗粉は大さじ1/2杯、水を同じく1/2杯で水とき片栗を作る。

作り方  
①フライパンにごま油を熱し、生姜を炒め、豚ひき肉を白くなるまで炒める。  
②小松菜を入れ、とりガラスープの素を入れ味付けする。  
③コショウを少々振り掛け、水とき片栗でとろみをつける。



☎指導課農産係 (☎845-4376)

市民へ「食」と「農」の啓発を行い、食の大切さとそれを支える農業・農村の重要性の理解を進め、地場産の安全・安心な農産物の消費を促進するなど、地産地消の拡大に向けた施策を展開します。また、都市農村交流を促進し市民と農家の協力関係から共働への誘導を図る施策を展開します。



井原高南農業集落排水処理施設

新しい施設が  
完成しました

安佐北区白木町秋山に井原高南農業集落排水処理施設が完成し、平成18年4月より供用開始となりました。当処理施設が加わり広島市の農業集落排水処理の仕組みが分かります。興味のある方は是非ご参加下さい。お申し込み、お問い合わせはお電話でお願いします。

農業集落排水処理施設  
施設見学会のお知らせ

農村部の下水道である、農業集落排水処理施設の見学会を開催します。下水処理の仕組みや様子などが分かります。興味のある方は是非ご参加下さい。お申し込み、お問い合わせはお電話でお願いします。

場所

須沢農業集落排水処理施設  
(安佐北区白木町大字三田、  
JR芸備線三田駅より徒歩5分)

日時

平成18年8月27日(日)  
午前10時30分から(1時間程度)

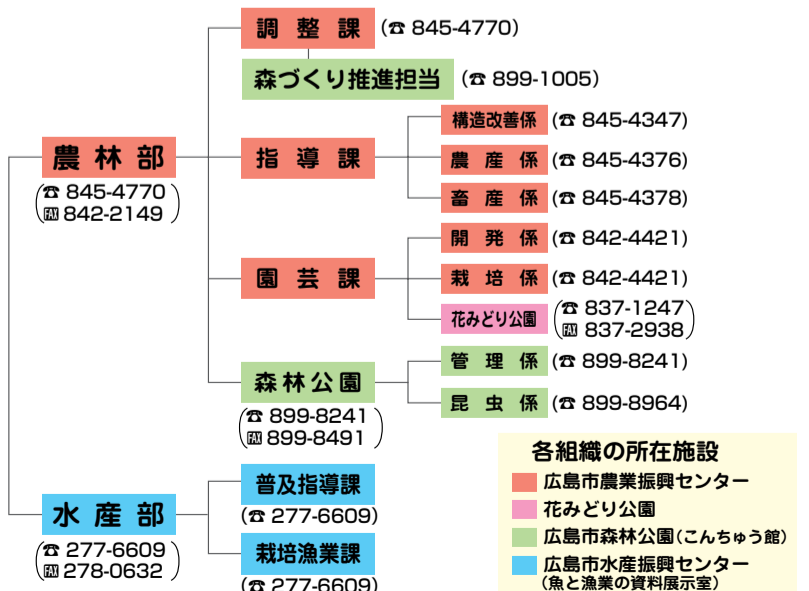
人数

20名程度(先着順)

☎調整課

(☎845-4349)

## 財団法人 広島市農林水産振興センターの 組織図と連絡先(平成18年4月1日一部改正)



各組織の所在施設  
 ■ 広島市農業振興センター  
 ■ 花みどり公園  
 ■ 広島市森林公園(こんちゅう館)  
 ■ 広島市水産振興センター(魚と漁業の資料展示室)

## 親ひのき 子ひのきの森事業

第5回ひろしま「山の日」県民の集い inひろしま

と き：平成18年10月22日(日)  
 ところ：広島市森林公園  
 募集人数：100名  
 ※応募方法は、市民と市政(10/1)で掲載予定

目的：  
 平成8年度に、市民参加の森林づくり事業の一環として、森林公園内で開催した植樹祭で植えたヒノキの苗木が10年経ち大きくなり、枝打ちの時期になったことから、当時植樹に参加した方々等市民による枝打ち体験を通じて、木を育てるということを実感し、森林づくりの重要性を認識してもらいます。



大きくなった親ひのき子ひのきの森



枝打

問 森づくり推進担当 (☎899-1005)

- 1 小・中学校への「総合的な学習の時間」支援  
 小・中学校に出張し、理科学力向上を目的として総合的な学習の指導を行いました。  
 (のべ51校2,927人)
- 2 公共機関との連携  
 (1) 区役所、公民館が行う自然保護活動の指導、協力を行いました。  
 (2) 児童館で「カブトウワガタ展」などを開催し、好評を博しました。  
 (3) 市教育委員会と連携したインターネット講座の指導や、文化財団が主催する昆虫をテーマにしたイベントに協力しました。  
 (61回7,602人)



「総合的な学習の時間」の様子

- 3 地域団体が行う環境保護への指導  
 地域ボランティアが行っているホタルの保護活動の指導、協力を行いました。  
 (3回307人)
- 4 大学との連携  
 (1) こんちゅう館が実施した小学校における理科学習支援について、県立広島大学の理科教育専門家と連携し、その方法及び成果に関する共同研究を行いました。  
 (2) 広島市立大学における博物館資料論の講師やこんちゅう館における博物館実習生の受け入れを行いました。  
 (11回152人)

問 こんちゅう館 (☎899-8964)

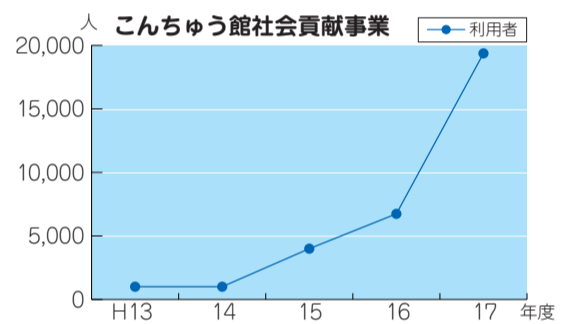
(11回152人)

その他の出張講座、連携活動など (数値は平成17年度)

森林公園こんちゅう館は、昆虫の観察やふれあいによって、命の大切さや自然の不思議さを体験し、昆虫や人を取り巻く自然や環境を守ることの大切さを普及しています。  
 近年では森林公園の外へ外向き、保育園、小中学校や公民館等と連携して、出前講座等を行い、こんちゅう館の持つ公益的な使命をより一層果たしています。  
 昨年度は、年間の要請369回、利用者19,371人で、取り組みを始めた平成13年度に比べ、大幅に増えています。



保育園での出前講座



# マコガレイの稚魚を大きくしたよ!

30mm

これまで全長25mm以上で広島湾に放流していましたが、更に1ヶ月ほど陸上水槽で大事に育てることによって、今年度から全長30mm以上にして、10万尾を放流しました。

頭 ▲どこに隠れているかわかるかな?

## 大きくしたのはなぜ?

- 全長30mm以上にすることで、砂に潜る能力が高まります。
- 砂に潜る能力が高まると放流直後の食害が減ります。  
※食害とは…他の生物に食べられること
- より高い放流効果が期待できます。

放流の様子

問 栽培漁業課 (☎277-6609)

# 新ブランド開発

## ひろしまカキの新ブランド開発

新しい広島ブランドカキとして売り出すため、「シングルシード」と呼ばれる人工種苗を使った殻付きカキの養殖試験をはじめます。

### シングルシードって?

- シングルシードは「ひとつの種」という意味で、最初から一粒ずつばらばらになっていて、カゴで養殖します。
- 3月に人工採苗することで、作業時期が早くなり、半年程度の短期間で出荷できます。
- 殻に深みがあってコロツとしているので、身がぎっしり入っています。広島カキ本来の小粒でもぷっくりとしたおいしいカキです。

シングルシード 通常の養殖かき

### 養殖試験のスケジュール

3月 人工採苗 → 7月 カゴ養殖開始 → 12月 収穫開始 → イベント試食

殻付きカキの消費は伸びています。広島カキの新ブランドとして、大きな期待がかかります。

問 普及指導課 (☎277-6609)

# イベント情報

## 広島市森林公園 ☎899-8241

### 夏休みワンパク月間

**開催日：**  
7月30日(日) 鮎のつかみ取り大会  
スイカ割り大会  
8月13日(日)～15日(火)  
水辺の遊び広場  
8月19日(土)、20日(日)  
そうめん流し  
木工とんかち教室  
8月27日(日) 鮎のつかみ取り大会

### 秋の森林公園紅葉まつり

**開催日：**  
11月3日(祝・金) 開園記念イベント  
11月5日(日) 草花遊び  
11月12日(日) 紅葉トレッキング

### 森のたこあげ大会

**開催日：**平成19年1月14日(日)

## こんちゅう館 ☎899-8964

### 夏の特別企画展示 「世界のカブト・クワガタ2006」

世界の様々な生きたカブトムシやクワガタムシがやってきます。一部は実物に触れることもできます。実物ならではの迫力をお楽しみください。  
**開催期間：**7月21日(金)～8月31日(木)



ヘラクレスオオカブトムシ

### 夏休み子ども昆虫相談会

自由研究の対策をかねて昆虫相談会を設けます。日頃、疑問に思っていることをどしどし聞いてきてください。  
**開催期間：**8月22日(火)～8月31日(木)

### 秋の企画展「秋の鳴く虫」

私たちの耳を楽しませてくれる、秋の鳴く虫たちを身近に見ることができます。声は聞こえても姿は見たことがない、という虫の正体がわかるかもしれません。

**開催期間：**9月16日(土)～9月24日(日)

### 昆虫教室

小学生を対象に、親子で昆虫の観察や標本作りを体験できます。申込制。参加希望の方はお子様のお名前と学年、住所、電話番号を記入の上、往復葉書でご応募ください。時間は約2時間。

**開催日：**  
7月9日(日) 夏の虫の観察  
8月20日(日) 昆虫の標本作り  
10月8日(日) 秋の虫の観察

### 昆虫おもしろ講座

季節の昆虫について、おもしろい性質やあっとおどろく生活などをわかりやすく解説します。カブトムシ・クワガタムシも登場します。

**対象：**こんちゅう館入館者  
**開催日時：**9月30日、11月25日、12月2日。いずれも土曜日、午後1:30から40分程度。

### こんちゅう館ミニツアー

こんちゅう館の見どころ、展示昆虫の詳しい解説をし、飼育室等一般入館者の入れない場所へご案内します(当日申し込み10組30名まで)。

**対象：**こんちゅう館入館者  
**開催日時：**7月1・8・15日、9月2・9・16・23日、10月14日、11月11日、12月9・16日、1月6・20・27日、2月10・17・24日、3月10・17・24日。いずれも土曜日午後1:30から40分程度。

### 秋の特別企画展

世界のかわった昆虫たちが集まります。詳細は後日発表。

**開催期間：**10月7日(土)～11月5日(日)

### 秋の企画「虫を食べる2006」

いなごやハチの子など、昆虫食材を味わってみませんか。

**開催期間：**11月18日(土)～19日(日)

### 冬の企画1 「クリスマス標本プレゼント」

昆虫館で展示されていたカブトムシやクワガタムシなどの標本が抽選で当たります。

**開催期間：**11月23日(祝・木)～12月24日(日)の土、日曜日、祝日及び12月25日(月)

### 冬の企画2 「まゆ玉細工コンテスト」

カイコのまゆを使って思い思いの作品を作ってください。審査により、優秀作品には賞品を贈呈します。

**開催期間：**平成19年1月4日(木)～3月4日(日)



味噌とつばき餅づくり

### はなづくり講座

**開催日：**10月15日(日)コケ玉づくり(秋編)

### みどりづくり講座

**開催日：**9月23日(祝・土)庭木の管理Ⅱ



庭木の管理Ⅱ

## 花みどり公園 ☎837-1247

### 秋のふれあい祭り

**開催期間：**11月18日(土)～11月22日(水)  
※11月21日(火)は休園日。  
期間中バザールの国で、植木、花の即売会を行います。  
11月18日(土) 果樹の作り方  
11月19日(日) 庭木の管理Ⅲ

### ふるさと文化体験教室

**開催日：**7月23日(日) 夏の山菜探求  
8月6日(日) うどん打ちⅠ～家庭でザルうどん～  
11月5日(日) うどん打ちⅡ～家庭で釜揚げうどん～  
12月3日(日) コンニャクづくり  
12月10日(日) しめ縄づくり  
2月4日(日) 味噌とつばき餅づくり  
3月4日(日) 手打ちうどんと山菜



しめ縄づくり

### 体験教室(そばコース)

そばの栽培から収穫までを実習し、手づくりそばを試食します。8月1日(火)から一括募集。

**開催日：**8月23日(水)、9月13日(水)、11月8日(水)、22日(水)、12月13日(水)

## 広島市水産振興センター ☎277-6609

### 海辺の教室



稚魚の放流風景

**対象：**小学校3～6年生とその保護者  
**開催時間：**13～15時  
先着30名。無料。  
**申し込み問合せ：**お電話で(☎277-6609)  
**開催日：**7月16日(日)  
「育てる漁業」稚魚の放流  
※8月以降も第三日曜日(11月を除く)に海辺の教室を行ないます。

## ●施設の位置

**花みどり公園** 〒731-3362 広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地1  
☎(082) 837-1247 〆(082) 837-2938  
<http://www.hiroins-net.ne.jp/hanamidori/>

**【バス利用】**  
広島バス:アストラムライン本通り駅から長楽寺または広域公園行き 上安駅下車。バス乗り換えあさひが丘行き、あさひが丘中停留所下車。タクシーで5分。  
**【自家用車利用】**  
毛木、動物園線の三国分かれから西へ3分。主要地方道38広島豊平線、水口橋から東へ5分。主要地方道38広島豊平線、名原橋、名原農道経由5分

**広島市水産振興センター (魚と漁業の資料展示室)**  
〒733-0833 広島市西区商工センター8丁目5番1号 ☎(082) 277-6609 〆(082) 278-0632  
<http://www.suisansc.or.jp/>

**【バス利用】**  
広島バス:広島駅発商工センター行き 井口車庫下車、徒歩約5分  
**【電車利用】**  
広島宮島線:鈴が峰女子大前下車、徒歩15分

**ホームページアドレス** <http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>  
**E-mail アドレス** [hiroagri@hiroins-net.ne.jp](mailto:hiroagri@hiroins-net.ne.jp)

**広島市農業振興センター(事務局)**  
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号 ☎(082) 845-4770 〆(082) 842-2149

**【電車利用】**  
JR芸備線:広島駅から中深川駅下車、徒歩20分  
**【バス利用】**  
JRバス、広島交通:広島バスセンターから深川台行き 深川台停留所下車、徒歩5分  
**【自家用車利用】**  
主要地方道37広島三次線、中深川郵便局の東150mを南へ2分

**広島市森林公園 (こんちゅう館)** 〒732-0036 広島市東区福田町藤ヶ丸173番地  
☎(082) 899-8241 〆(082) 899-8491  
<http://www.hiroins-net.ne.jp/h-sinrin/>

**【バス利用】**  
広島バス:小河原車庫方面行き 登石停留所下車、徒歩約60分  
**【自家用車利用】**  
山陽自動車道 広島東I.C.から約10分 広島駅から約30分